



海辺のグランドデザインワークショップ

(稲毛～検見川～幕張)

第1回 12/7 sun
第2回 12/21 sun
第3回 1/18 sun

開催日：2015年1月18日（日）
場所：稲毛ヨットハーバー（講習室）
参加者：公募市民等18人

■第3回ワークショップの概要

第1回と2回に作成した物語や意見を実現させるために、行政、事業者、市民の各主体がどんなアクション（行動）をするとよいかを話し合いました。
また、これらの取組みについて Step1～4（概ね1年後、3年後、10年後、30年後を想定）に大別し優先度を話し合いました。



<スケジュール>

- 13:00-挨拶・説明
- 13:05-第1回および2回の振り返り
- 13:30-理想のまちづくりのためのアクションシートづくり
- 14:40-休憩
- 14:50-未来に向けたホップ・ステップ・ジャンプ
- 16:00-解散

理想のまちづくりのためのアクションシートづくり（結果の一部抜粋）

1班 協議会のような全体を話し合う場が必要

アクションは全て行政、事業者、市民の協働で行う必要がある。協議会のような全体の話し合いの場が必要。また、財源の確保のため、朝市などのイベントを充実させて利益を公園に還元する。

2班 イベント開催など地元に関わる体制づくりを

ビーチイベント等を充実させるためには、行政が場の提供や広報を支援する。また、イベントの調整役として地元事業者を育て、地元に関わる体制にする。市民が積極的に参加したりイベントを提案する事も大切。

3班 パークセンターや渚交番を官民連携により運営

時代や要望に合わせた公園管理を行うため、パークセンターを設置して利用ルールの統一や相談窓口の一元化に取り組む。住民、事業者が参画して税金に頼らない渚交番を整備し、海辺の安全を守る仕組みをつくる。

4班 マリンスポーツ窓口の一元化により利用を促進

市民や観光客が気軽にマリンスポーツに参加できるように、各種スポーツの団体や市民、事業者等が連携して、マリンスポーツのワンストップ化（窓口の一元化）を図る。

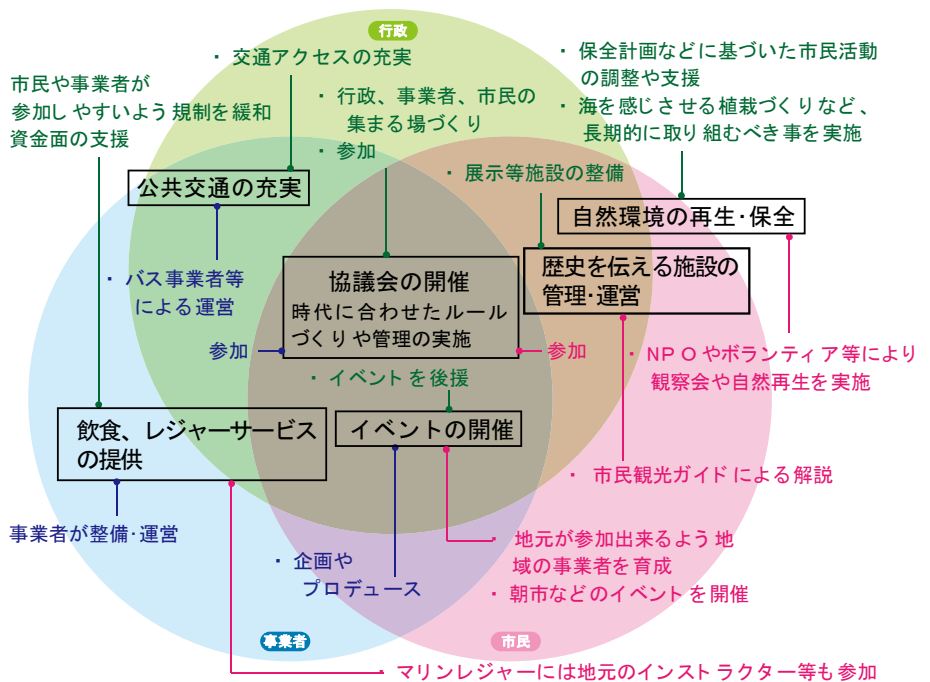
■4つの班の主なご意見

（結果の一部抜粋・全班の結果をまとめています）

施設やサービスを充実するためには、各主体が連携することが必要という意見が多くを占めました。



緑字：行政
青字：事業者
赤字：市民



未来に向けたホップ・ステップ・ジャンプ 実現のためのステップ表（結果の一部抜粋・全班の結果をまとめています）

Step1	Step2	Step3	Step4
<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用の規制緩和 ・パークセンターや協議会設置 ・地域の歴史の展示や解説 ・マリイベントの企画運営 ※主に制度や体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や各サービス施設の整備 ・インフォメーション施設の整備 ・駅前での観光情報発信 ・地域ベンチャー支援等 ※主にレジャー等施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジャーのインストラクター養成施設の設置 ・公共交通の充実 ・貸自転車の運営 ※主に市街地との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい景観の維持 ・自然の再生保全 ※良好な環境の維持・保全

